

- 問1 日本で聖徳太子が摂政として政治を行っていた593年から、天武天皇による治世が始まる672年までの期間（7世紀初め）に、アラビア半島で成立した宗教を次から選びなさい。（2016年 茨城県公立入試 類似）
1. キリスト教

2. ユダヤ教

3. イスラム教

4. 仏教
- 問2 平安時代中期に藤原氏が「摂関政治」を完成させ、長期にわたって権力を維持できた理由として、最も適切な背景はどれですか。（2025年 岡山県公立入試 類似）
1. 天皇の母方の祖父という立場を確保し、天皇との血縁関係を極めて強く保持し続けたから。

2. 班田収授の法を厳格に運用し、全ての農民に土地を均等に配分することで税収を安定させたから。

3. 律令に基づき、地方の国司を武士の中から選ぶことで、軍事的な統制力を高めたから。

4. 「武士の気風」を尊ぶことで、新興の武士階級と協力して地方の反乱を鎮圧したから。
- 問3 平安時代中期から後期にかけて、藤原氏が行った「摂関政治」から白河天皇が始めた「院政」へと政治の形が変化した背景を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
1. 平氏などの武士団が朝廷の警護を行うようになり、武力による裏付けをもって新しい政治体制を築こうとしたため。

2. 藤原道長が自らの娘を天皇の后とすることで、天皇に代わって一切の政務を代行する仕組みを完成させたため。

3. 地方の武士が勢力を伸ばしたため、天皇が国司の監督を強化して地方支配を安定させる必要があったため。

4. 天皇が位を退いて上皇となり、天皇の外祖父として権力を振るった藤原氏などの貴族を抑えて実権を握ろうとしたため。
- 問4 中尊寺金色堂が位置する岩手県平泉に関連する記述として、歴史的な事実に基づいた正しいものはどれか。（2022年 愛知県公立入試 類似）
1. 平泉は源頼朝の命によって、東国を統治するための幕府の出先機関である「奥州総奉行」が設置された政治の中心地である。

2. 室町時代に足利義政が隠居所として開発した地域であり、簡素な美しさを尊ぶ「わび・さび」の文化の源流となった。

3. 平安京の景観を完全に模倣して造られたため「北の京」と呼ばれ、遣唐使によってもたらされた最新の大陸文化が花開いた。

4. 平泉は、奥州藤原氏が三代にわたり拠点とした都市であり、現在は当時の浄土教に関わる寺院や庭園の遺跡群が世界文化遺産に登録されている。
- 問5 10世紀の平安時代中期、地方政治の混乱に乗じて、瀬戸内海の高僧を率いて朝廷に対し反乱を起こした人物は誰か。（2023年 愛媛県公立入試 類似）
1. 藤原道長

2. 藤原純友

3. 坂上田村麻呂

4. 平将門
- 問6 平安時代末期に平清盛が太政大臣となり、平氏一門で高官を独占して権力を掌握した際、かつての摂関政治の仕組みを模倣して行った政治手法として最も適切なものはどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. 朝廷から全国の公領を管理する権利を奪い、各地に代官を派遣して年貢を直接徴収することで、経済的な基盤を固める手法。

2. 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の親戚（外戚）として政治に介入する手法。

3. 各地の武士と直接の主従関係を結び、彼らに土地の支配権を保障する代わりに、軍事的な奉仕を誓わせる手法。

4. 天皇から「征夷大將軍」の役職に任命されることで、朝廷とは独立した独自の行政機関を組織して政治を行う手法。
- 問7 日本列島のほぼ中央、現在の京都府京都市にあたる場所に、794年に桓武天皇によって遷された都を何といいますか。（2016年 北海道公立入試 類似）
1. 鎌倉

2. 長岡京

3. 平城京

4. 平安京
- 問8 平安時代に紫式部が『源氏物語』を執筆した際の時代背景について述べたものとして、最も適切な説明を選びなさい。（2024年 島根県公立入試 類似）
1. 遣唐使の廃止にともない、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字による表現が広がった。

2. 大陸との交流が盛んになり、最新の唐の文学理論をそのまま取り入れることが奨励された。

3. 武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が好まれたため、戦の様子を伝える文学が主流となった。

4. 仏教を広めるために幕府が平易な文字の使用を命じ、庶民の間で娯楽としての読書が急速に普及した。
- 問9 平安時代の政治において、藤原氏による摂関政治が全盛期を迎えていた時期の社会背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この時期には、1053年に建立された平等院鳳凰堂に代表されるような、極楽浄土を願う信仰も広まりました。（2019年 滋賀県公立入試 類似）
1. 大陸文化の影響を消化し、かな文字による文学や日本独自の美意識が反映された文化が発展した。

2. 遣唐使を通じて唐の進んだ制度や仏教文化を積極的に取り入れ、国際色豊かな文化が形成された。

3. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や茶の湯などの簡素な美しさを尊ぶ文化が形成された。

4. 武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が東国を中心に広がった。
- 問10 894年に遣唐使が停止されたことを一つの契機として、10世紀頃の日本では、それまでの大陸文化を基礎としながらも日本の風土や生活、日本人の感情に合わせた独自の文化が発達しました。この文化の名称として正しいものはどれですか。（2026年 広島県公立入試 類似）
1. 国風文化

2. 弘仁・貞観文化

3. 天平文化

4. 桃山文化
- 問11 平安時代中期、藤原道長や頼通の親子が政治の実権を握っていた時期の体制について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 宮崎県公立入試 類似）
1. 天皇が位を譲って上皇となり、天皇の父方の親戚として実権を握りながら政治を行う院政。

2. 自身の娘を天皇の后とし、その子供を次の天皇に即位させることで、天皇の母方の親戚として政治を行う摂関政治。

3. 天皇との親戚関係を一切持たず、実力主義で選ばれた官僚たちが合議によって政治を行う律令政治。

4. 地方の有力な武士と養子縁組を繰り返し、武力による裏付けをもって朝廷の役職を独占する武家政治。
- 問12 701年に制定された、唐の法律にならって全国を治めるための仕組みを明確にした法典を何といいますか。この法典の完成により、二官八省の官制や租・庸・調などの税制が整い、天皇を中心とした中央集権的な国家体制が確立されました。（2024年 長崎県公立入試 類似）
1. 御成敗式目

2. 十七条の憲法

3. 武家諸法度

4. 大宝律令
- 問13 平安時代後期に行われた「院政」と呼ばれる政治の仕組みや背景について、正しい説明はどれですか。（2025年 岡山県公立入試 類似）
1. 地方の混乱を抑えるために有力な武士を国司として派遣し、土地の管理を直接行わせる制度。

2. 仏教による国家の安定を目指し、全国に国分寺や国分尼寺を建立して人々の心を掌握する政治。

3. 天皇が退位して上皇となった後、独自の役所を設けて摂政や関白を介さずに政治を行う仕組み。

4. 藤原氏の娘を天皇のきさきとし、その子供を次の天皇に立てることで権力を独占する仕組み。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 イスラム教	イスラム教は、ムハンマドによって7世紀初めにアラビア半島のメッカで開かれました。この時期の日本は、聖徳太子（厩戸王）が冠位十二階や十七条の憲法を制定し、遣隋使を派遣するなど、中央集権国家の形成が進んでいた飛鳥時代に当たります。
問2	答え 1 天皇の母方の祖父という立場を確保し、天皇との血縁関係を極めて強く保持し続けたから。	摂関政治の最大の特徴は、藤原氏が天皇の「外祖父（母方の祖父）」になることにあります。当時の慣習では子供は母親の実家で育てられることが多かったため、母方の祖父は天皇に対して強い影響力を持つことができました。藤原道長はこの仕組みを最大限に利用し、娘たちを次々と天皇に嫁がせることで、揺るぎない権力基盤を構築しました。
問3	答え 4 天皇が位を退いて上皇となり、天皇の外祖父として権力を振るった藤原氏などの貴族を抑えて実権を握ろうとしたため。	摂関政治は、藤原氏が自分の娘を天皇の后にし、生まれた子を天皇に立てて、その外祖父として権力を振るうものでした。これに対し、藤原氏と血縁関係の薄い天皇が即位したことをきっかけに、天皇が位を譲った後も「上皇」として政治を行う院政が始まりました。これにより、摂政や関白として実権を握っていた藤原氏ら貴族の影響力を排除し、皇室が主導権を取り戻すことが目的とされました。
問4	答え 4 平泉は、奥州藤原氏が三代にわたり拠点とした都市であり、現在は当時の浄土教に関わる寺院や庭園の遺跡群が世界文化遺産に登録されている。	平泉は奥州藤原氏三代（清衡、基衡、秀衡）の時期に、仏教の理想郷を目指した都市として整備されました。中尊寺だけでなく毛越寺の庭園などにも有名です。2011年には「平泉―仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群―」として、世界文化遺産に登録されました。
問5	答え 2 藤原純友	10世紀前半、地方政治の緩みから各地で武士が台頭始めました。もともと伊予国（現在の愛媛県）の役人であった藤原純友は、瀬戸内海の手海賊を組織して朝廷に反旗を翻しました。同時期に関東で発生した平将門の乱とともに「承平・天慶の乱」と総称され、これらを鎮圧する過程で武士の力が中央に認識されるようになりました。
問6	答え 2 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の親戚（外戚）として政治に介入する手法。	平清盛は、かつて藤原氏が摂関政治で用いた手法を武士として取り入れました。具体的には、娘の徳子を高倉天皇の后に入れ、その間に生まれた安德天皇を即位させることで、天皇の外祖父（母方の祖父）という立場から強い政治力を発揮しました。これは武力による支配だけでなく、血縁関係を通じて朝廷内部から権力を握ろうとしたものです。
問7	答え 4 平安京	桓武天皇は、政治の刷新と仏教勢力の影響を断ち切ることを目的として、794年に現在の京都市へ都を移しました。これが平安京であり、その後明治時代に至るまで、約1000年以上にわたって日本の中心的な都として機能し続けました。
問8	答え 1 遣唐使の廃止にともない、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字による表現が広がった。	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が廃止されると、中国の影響を消化しつつ日本の感性に合わせた「国風文化」が成立しました。それまで公的な文書は漢字（真名）で書かれていましたが、日常的な感情や細やかな情景を表現するのに適した「かな文字」が使われるようになり、紫式部らによる物語文学の開花につながりました。
問9	答え 1 大陸文化の影響を消化し、かな文字による文学や日本独自の美意識が反映された文化が発展した。	摂関政治の全盛期は国風文化の円熟期にあたります。この時期、紫式部による『源氏物語』や清少納言による『枕草子』といった、かな文字を用いた文学作品が誕生しました。また、建築面では阿弥陀如来を祀る平等院鳳凰堂が建立されるなど、日本の風土に根ざした貴族文化が花開きました。
問10	答え 1 国風文化	菅原道真の建議により遣唐使が廃止されたことで、中国（唐）との直接的な交流が減少しました。その結果、それまでに取り入れた大陸文化を日本人の感性に合うよう消化・再構成する動きが強まり、日本独自の「国風文化」が形成されました。この時期は貴族が政治の中心であったため、貴族の生活様式を反映した文化が中心となっています。
問11	答え 2 自身の娘を天皇の后とし、その子供を次の天皇に即位させることで、天皇の母方の親戚として政治を行う摂関政治。	藤原氏は平安時代、天皇との婚姻関係を深めることで権力を維持しました。自分の娘が産んだ子（孫）を天皇に立て、自分は天皇の母方の祖父という立場を利用して、幼い時には摂政、成人してからは関白として政治を主導しました。この仕組みを「外戚（がいせき）関係」と呼びます。
問12	答え 4 大宝律令	文武天皇の時代に完成したこの法典により、日本は法に基づく統治を行う「律令国家」としての歩みを本格化させました。それまでの慣習的な統治から、文書による組織的な行政運営へと移行した点が大きな転換点です。選択肢にある武家諸法度は、江戸時代に幕府が武士を統制するために出したものであり、この時代のものではありません。
問13	答え 3 天皇が退位して上皇となった後、独自の役所を設けて摂政や関白を介さずに政治を行う仕組み。	院政は、藤原氏が摂政や関白として権力を独占する「摂関政治」に対抗し、天皇家が政治の主導権を取り戻すために行われました。上皇は「院庁」という独自の役所を置き、北面の武士を組織して警護にあたらせるなど、従来の官僚組織とは異なるルートで政治を動かしました。藤原氏の婚姻政策は摂関政治の特徴であり、国分寺の建立は奈良時代の聖武天皇による政策です。